

	4	5	6	7	8	9
大展示室	生誕110年一浪漫の調べー菅野圭介展 4/13~6/23			第19回私の愛する一点展 7/2~9/23		
ふれあい館	東御発:全国へ! テレビ放映された展覧会 4/13~6/23			ソーシャル・エンゲイジド〜芸術による社会実践〜 7/2~7/28	純な水彩画展 8/3~8/28	陶の灯り 9/1~9/23

■2019年イベントスケジュール

- 4月14日(日) オープニング講演会(要予約) 13:30~
- 5月12日(日) 菅野邦彦ジャズコンサート(要予約) 13:30~
- 6月2日(日) 荘司貴和子研修会(要予約)

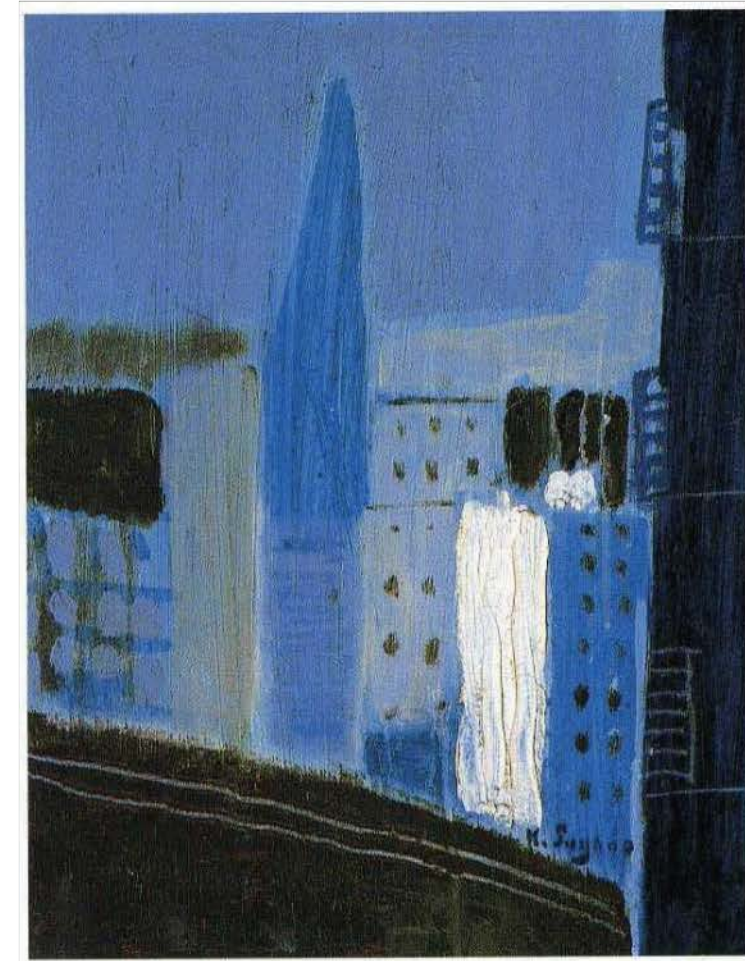
■同時開催 東御発:全国へ! テレビ放映された企画展

■施設情報、開館案内

東御市梅野記念絵画館 <http://www.umenokinen.com/>  
 〒389-0406 長野県東御市八重原 935-1 TEL0268-61-6161  
 FAX0268-61-6162 umenokinen@ueda.ne.jp  
 開館時間 午前9時~午後5時(4時30分迄にご入館ください)  
 入館料 800円(高校生以上)団体割引700円(15名以上)  
 身障者割引、学校利用減免、減額制度もあります。  
 休館日 4月15、22、30日 5月7、13、20、27日 6月3、10、17日

■アクセス

- お車** 練馬ICから2.5時間
- 鉄道** 東京から最速2時間  
しなの鉄道「田中」下車、タクシー15分
- ◆関東、北陸方面から  
上信越道東部湯の丸インターから15分
- ◆関東、北陸方面から  
北陸新幹線「上田」で、しなの鉄道乗換、田中下車。
- ◆中部、関西方面から  
長野道岡谷インターから新和田トンネル、R142号経由で約1時間
- ◆中部、関西方面から  
特急しなの号利用「篠ノ井」で、しなの鉄道乗換、田中下車



菅野圭介は、1930年代前半(昭和10年代から昭和30年代半ば)に活動した画家です。ちょうど第二次大戦を間にはさんでの20数年間です。混沌とした世相の中で、ひとり菅野は、時代を超越するかのよう、時のうつろいに揺らぐことなく、清冽な色彩に満ちた世界を画き続けました。不純物を取り去ったその半抽象の画面は、今も、悠久ともいえる浪漫の調べを奏でています。

菅野は1935年に渡欧し南仏グルノーブルでジュール・フランランに師事。帰国後、独立美術協会展で注目を浴びます。

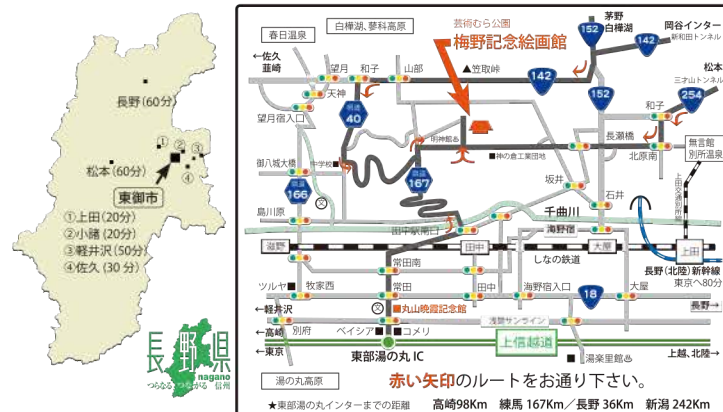
赤褐色の諧調が不思議な雰囲気をもたせた作品は、独立美術協会の実力者であった児島善三郎を驚かせました。三岸節子もまた、この画家に好感を持った一人でした。

菅野圭介は、1948年、画家三岸節子との『別居結婚』を発表します。才能ある画家同士の、入籍もせず住居も別という“新しい形”の結婚スタイルはマスコミの話題となり、画家同士もこれを機に一層の仕事の充実ぶりを見せます。

1952年、菅野は再び長期の海外旅行に出ます。北米から南米、欧州をめぐる9ヶ月の旅の成果は、より大胆な構図・色使いとなって作品にあらわれました。「暗い絵は容易である。一見暗い作品が深そうな錯覚に陥り易いが明るい芸術こそ難しいのである。」という菅野の面目躍如です。が、この長旅は三岸節子との関係を破局へ導くこととなりました。

菅野は晩年、海を主題にした作品を繰り返し画きました。砂浜と海と空とを描いた絵は、三色旗のようでワンパターンだと評されました。しかしそれこそが菅野の色彩の旋律だったのではないのでしょうか。

マンネリとかワンパターンとか誹られながらも、変わることなく、自分の詩と色と音楽をキャンバスに画き続けた画家・菅野圭介の作品群をご高覧ください。



地域の情報をラジオで発信!  
エフエムとうみ 78.5MHz

リクエスト、メッセージは  
m@fmtomi785.jp

生誕110年 浪漫の調べ

菅野圭介展

2019・4・13(土)~6・23(日)

- 4月14日(日) オープニング講演会 13:30~
- 5月12日(日) 菅野邦彦ジャズコンサート



東御市梅野記念絵画館

www.umenokinen.com  
 〒389-0406 長野県東御市八重原935-1 TEL.0268-61-6161 FAX0268-61-6162